

指導農業士合同研修会で茶業の現状に驚嘆！

7月20日、県指導農業士会甲賀支部と東近江支部の合同研修会が開催され、両支部併せて22名の農業士が参加されました。

今回は甲賀支部が主催となるため当課が主体となり、東近江支部（農産普及課）と連携を取りながら運営の支援を行いました。

研修は甲賀管内の特徴的な農産物である「お茶」に絞った内容とし、土山・朝宮の両茶園の見学と荒茶加工の視察、新茶の試飲を行いました。

研修では立岡支部長（土山町茶業農家）から、茶農家数の減少と荒茶販売価格の低迷による売上げ減少、それを補うための規模拡大など、お茶業界の抱える切実な課題について説明されました。また朝宮茶園では黒田地区委員（信楽町茶農家）から、急こう配での管理作業や品質維持の苦勞、後継者不足の現状について説明されました。

参加者からは、「指導農業士でありながら、これまでお茶の知識がほとんどなかった」「今回の研修で、お茶農家の抱える現状を知り驚いた」「農業士として県全体の農業や担い手育成についてもっと考えなければならぬ」との感想が聞かれました。

農産普及課では今後も指導農業士会と連携を取り、地域農業の活性化と担い手育成にむけた活動の支援を行っていく予定です。



茶工場で製茶工程を勉強



朝宮奥山茶園の状況を視察